

特集 大地震への備えはできていますか?

いつ発生するかわからない大地震。今のうちに避難場所や避難行動を確認しておきましょう。また、もしもけがをしてしまったときのために、医療機関や応急手当についても知っておきましょう。

地域防災拠点を確認しよう

地域防災拠点は、市内で震度5強以上の地震を観測した際に開設されます。

発災時、地域防災拠点を運営するのは地域の人と避難してきた皆さんです。ご自分の地域防災拠点を確認しておきましょう。また、地域の防災訓練では、地域防災拠点の運営訓練も行っています。ぜひ参加して、いざというときに速やかに動ける練習をしておきましょう。

地震が起こったら

自家

建物に火災や倒壊の危険がないときは、あえて避難の必要はありません。(状況に応じて対応してください)

自宅に危険があり、知り親戚の家など、身を寄せられる場所があれば避難しましょう。

その他の避難場所

広域避難場所(清水ヶ丘公園一帯など)
地震による火災が多発し延焼拡大した場合、熱や煙から生命・身体を守るために、一時的に避難する場所です。
※避難生活を送る場所ではありません。

いつき避難場所(近くの公園・広場など)
自治会や区内で定めている場所があれば、広域避難場所や地域防災拠点へ避難する前に、状況の把握のために、地域住民が集まる場所です。

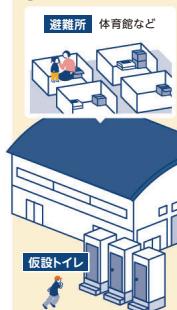
自分の避難先はどこ?
地域防災拠点について詳しくはこちる
QRコード
南区防災マップでも確認できます!
区役所(6階66番)で配布しています。

地域防災拠点(市立の小・中学校)
地震などによって家が倒壊または焼失し、住む場所がなくなりた人が一時的に避難生活をする場所です。
区内には市立の小・中学校25か所が指定されています。

みんなで運営する避難所

地域防災拠点ミニマク小学校(イメージ)

- 地域防災拠点の役割
- 自宅で生活できなくなった人が避難生活を送る場(避難所)
- 地域への情報・支援物資の提供の場
- 地域情報の集約の場



避難所に行ってからの流れ

- ① 避難者カードの記入
▼ 避難者の状況を把握するため、避難者カードに記入します。
- ② 家族などの安否確認
▼ 避難所に家族などが避難しているか確認します。
- ③ 生活基盤の形成
中長期的な避難生活に向けた準備(避難スペースの割り、仮設トイレの組立てなど)を、避難者同士で協力して行います。
- ④ 避難所の運営
炊き出しいや清掃など、避難者の皆さんで協力して行いましょう。

避難所生活での注意点
避難所では、多くの人々と一緒に生活することになります。
お互いにルールを守り、協力しながら生活しましょう。

「在宅避難」のススメ

発災時、自宅とその周辺の安全が確認できれば、在宅避難も選択肢のひとつです。

住み慣れた家での生活はプライバシーが守られ、感染症のリスクも減らせます。自宅で被災生活を送るために、日頃から生活必需品を最低3日分備えておきましょう。

*在宅避難者も、地域防災拠点で情報や物資が得られます。



日頃からの備えや発災時の対応などを掲載している防災啓発冊子を区役所(6階66番)で配布しています。

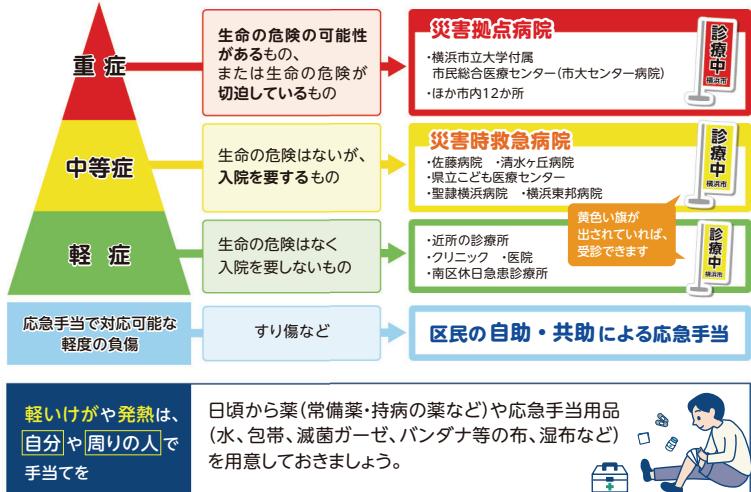
ウェブページでも掲載しています。ぜひ一度ご確認ください。



固防災担当 341-1225 携 241-1151

災害時の医療について知っておこう

災害時には医療機関に多くの負傷者が殺到することが予想されるため、医療機関は緊急度・重症度に応じて分担して診療します。災害時に医療機関で診療や治療を受ける必要がある場合には、緊急度、症状の重さに応じた医療機関に行きましょう。



災害時に薬が必要なとき
薬を提供できる薬局は「開局中」の黄色い旗を出します。



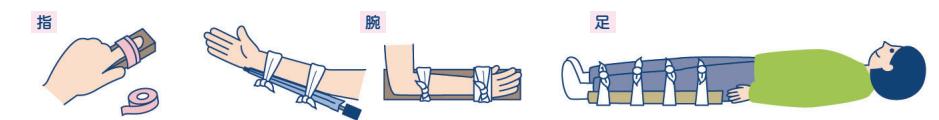
区における災害医療体制の詳細はこちる
QRコード

固事業企画担当 341-1184 携 341-1189

応急手当について知っておこう

消防署は、発災時に消火・救助を優先的に行います。このため、救急車がすぐには来ない可能性があり、住民がお互いに協力して傷病者を手当する場合もあります。いざというときのために応急手当の方法を学んでおきましょう。

骨折・捻挫の場合



三角巾(スカーフ、風呂敷、大判ハンカチなど)で患部を動かないように固定すると痛みを最小限にすることができます。



出血の場合

出血時の応急手当・搬送方法は、下の動画でチェック!



研修の日程や参加方法など詳しく述べる
QRコード

家庭防災員研修

南消防署では、「自らの身は自らで守る」という**自助**から始まり、**共助**の重要性について理解を深め、地域における防災活動の担い手としても活躍することを目的とした家庭防災員研修を行っています。応急手当・搬送方法のほか、初期消火器具の使い方、仮設トイレの設置方法などを学びます。

固南消防署予防係 353-0119